

時に関する表現の習得（中国語）について “現在”を中心に

玄, 宜青

(出版者 / Publisher)

法政大学国際文化学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

異文化. 論文編 / 異文化. 論文編

(巻 / Volume)

8

(開始ページ / Start Page)

111

(終了ページ / End Page)

118

(発行年 / Year)

2007-04-01

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00004520>

時に関する表現の習得 (中国語) について

“現在”を中心に

玄 宜青

0.

中国語の時間に関する表現の中に“現在”というものがある。日本語の「現在」とカタチが同じであるが、意味や用法が異なる場合もあるので、日本語を第一言語とする学習者が学習するとき注意を要する面もある。本稿では“現在”を日本語の「現在」や「いま」と比べた場合の異同について考える。

1.

1.0 “現在”について、辞書等では以下のように記述している。

- a 目前；说话的这个时候（区别于“过去”或“将来”）。【現在、発話をしているこの時、（「過去」或いは「未来」と区別して）筆者日訳、以下同】（应用汉语词典、商务印书馆辞书研究中心编、2000年1月、商务印书馆）
- b 現在. いま. $\longleftrightarrow$ [过去 guòqù] [将来 jiānglái]（講談社中日辞典第二版、相原茂編 2002年2月、講談社）

またいわゆる国語辞典では日本語の「いま」と「現在」については以下のような記述がある。

c いま（今）

一 略

二 《副》

①ごく近い未来を表す。すぐに。おっつけ。（例文略す）

②ごく近い過去を表す。さっき。少し前。さらに、そのうえに。もう。

三 略

（学研現代新国語辞典 1994 年 4 月、金田一春彦編著、学習研究社）

d げんざい（現在）

①②④ 略

③〔文法で〕動詞が今の状態、または現に行われている動作をあらわす。

（学研現代新国語辞典 1994 年 4 月、金田一春彦編著、学習研究社）

1.1 以上の辞書の記述から分かるように中国語の“現在”と日本語が対応している「現在」「いま」と比べた場合、“現在”が表わしている「時間」と「現在」「いま」が表わしている「時間」の間には少しズレがある。また、以下で見る例からはこのような辞書の記述以外にもズレもあることがわかる。

(1) （映画は6時からだが、）これからどうしますか。

この文を中国語に直したとき、「これから」をこのまま“以后”に訳すのではなく

(2) （电影6点才开演，）我们现在干什么呢？^(註1)

のようにするのがよい。すなわち、ここでは、「これから」

に対応するのは“現在”である。

このようなズレも学習者に提示する必要がある。

1.2 それでは「いま」、「現在」は中国語の“現在”にどのように対応しているのだろうか。

(3) いま授業をしているところです。【現在正在上课。】

(4) いま本を読んでいます。【现在正在看书。】

このように発話時にある動作、行為が行われている最中であることを表わしている場合日本語の「いま」は中国語の“現在”と対応しているが^(注2)、「ごく近い未来」「ごく近い過去」の場合はどうだろう。

(5) いま（彼に）電話するところだ。

(5') 【？我现在给他打电话呢】

(6) (「はやく来なさい」) いまいきます。

(6') (【快点儿来。】) 【？现在就来。】

(7) (ごはんを食べにいきませんか) いま食べちゃいました。

(7') (【去吃饭吗？。】) 【×我现在吃过了。×我现在吃完了。】

(8) (Aさんを見かけましたか) いま教室にいましたよ。

(8') (【看见A了吗？。】) 【？现在在教室呢。】

のようになる。このように「いま」の「ごく近い未来」「ごく近い過去」の用法においては中国語の“現在”は「いま」とは完全に対応しているわけではないようだ。

1.3 それでは、上でみてきた (5) (6) (7) (8) における「いま」と“現在”の対応はどのようになっているのだろうか。中国語ではそれぞれ次のようになっている。

(9) 【我正要给他打电话呢。】

(10) 【马上就来。】

(11) 【我刚吃过。我刚吃完。】

(12) 【刚才在教室呢。】

このように日本語の「いま」は(5)～(8)ではそれぞれ“正”“马上就”“刚”“刚才”と対応している。^(注3)一方では(5)(6)(9)(10)で見えたように日本語における「ごく近い未来を表す」「いま」の用法では“現在”はあまり使用されないように見えたが、(1)のように「あまり近い未来」においては“現在”を使用することができるし、

(13) いまから授業を始めます。

(13') 【我们现在(开始)上课。】

のように開始がはっきりしている場合も“現在”が使用されている。

2.

2.0 それでは、“現在”が表せるのは発話の時点から見てどの時点だろう。これは動詞によっても異なるようで、以下ではもう少し細かく観察してみる。

2.1 まず“現在”の意味用法と「ごく近い未来」を表わす用法からみる。中国語の“現在”は“说话的这个时候”を表わすが、ある動作のまさに最中であることを表わすときには“正”“正在”などの副詞をさらに使用することによって“说话的这个时候”に動作が最中であることを表わしている。

例えば

(14) 他现在正在写作业。

(かれはいま宿題をしているところだ)

のようになる。一方で質問にたいする答えとして

(15) 什么时候写作业? 现在写。

(いつ宿題するの。いまする。)

(16) 什么时候去? 现在去。

(いつ行くの。いま行く。)

のように発話時から見て“現在写”“現在去”では“現在”は「近い未来」を表わしていることになるが、(9) や次の (17) は異なるようである。

(9) 【现在我正要给他打电话呢。】

(17) 现在正要吃呢。(いま食べるところだ)

では、動作主の「これから開始する意思」を表わす“要”と「ちょうど最中である」ことを示す“正”が必要であり、“現在”は“正”と“要”と同時に使用されることで“说话的这个时候”の状況を表さないとならない。したがって少なくとも日本語の「いま」はいつも“現在”に置き換えることができるわけではないし、“現在”だけでいつも「ごく近い未来」をあらわすことができるわけではない。

2.2 2.1 では“現在”は「いま」のようにいつも「ごく近い未来」を表わしているわけではないということをみてきたが、ここでは、「ごく近い過去」について考えてみる。

(7) (ごはんを食べにいきませんか) いま食べちゃいました。

(7') 【×我现在吃过了。×我现在吃完了。】

からみられるように「いま～た(だ)」は場合によっては使用できる。この時の「いま」は「ついさっき」などに置き換えることができ、発話時からみてとても近い出来事である。

ではこのような「いま」は中国語ではどのように表わしているのだろうか。

(18) よかった。いま探しているところでした。

(18') 【?太好了, 我现在正找你呢】

(19) 【太好了, 我正找你呢】

(20) いま行ったかと思ったら、もう帰ってきた。

(20') (【×现在去了, 就回来了】) 【刚去, 就回来了】

(21) いま泣いていたかと思うともう笑っている。

(21') (【×现在还哭呢, 怎么又笑了】)【刚才还哭呢, 怎么又笑了】

(18) (20) (21) に対応している中国語の文として、(19) (20') (21') がある。この中ではいずれも“現在”を使用しない方がよいと思われる。これはいずれも「ごく近い過去」の用法である。これらの例から分かるように「いま」が表わしている「過去」は中国語では「～をいましている最中だ」「～をしたばかりだ」を表わす“正”や“刚”によって表わされている。ただ、同じ「ごく近い過去」でも動詞によっては違いがあるようだ。(18) のように発話時に具体的に探す行為を行っていないくても、また見つかっておらず、探している最中であるとも考えられるので、少しは許容度があがる。また(8)のほかに(22)(23)のような「過程をもたない」、「動きが結果に結びつく」ものは中国語でも“現在”が使用されやすくなる。

(8) (Aさんを見かけましたか) いま教室にいましたよ。

(8') 【? 现在在教室呢。】

(22) いまおきた。

【a? 现在起了。b 现在起来了】

(23) いまみえた。

【a? 现在看了。b 现在看见了。】

(8) のように「過去」においてその行為をおこなったが、おこったと同時に結果に達する場合“現在”は使用されやすくなる。また(22)(23)のような場合は“現在”は“说话的这个时候”を表わし、日本語では「(起きる) → 起きた」、「(みる) → みえた」のように動作は結果に達することになる場合、中国語は補語を使用して表わすので、(22) (特にb)、(23) (特にb) の場合は、主に結果について述べているものになり、従ってこの場合は、“現在”は使用可能になる。この点においては、

中国語の補語と日本語の「結果に達する」とは異なる面もあるが、^{〔注4〕} 動詞の種類によって“说话的这个时候”が表わしているものが異なり、“現在”に対しての許容度も異なるということが考えられる。

3.

以上、みてきたように中国語の“現在”と日本語の「いま」は辞書的な意味が同じでありながら、実際の文においてはすこしずつ異なる面があることがわかる。実際学習者には「現在」「いま」が中国語の“現在”に対応していることを伝えるほかに、過去、現在、未来における「現在」だけではなく、「近い過去」「近い未来」の存在、また、動詞によっては、中国語の“現在”の使用状況が違うことも伝える必要がある。さらに、「いま」だけでなく、「今頃」「今から」などについてもあわせて考える必要があるが、この点については今後の課題とする。

注

注1 これは実際教室で学生が作った文である。この時は中国語で会話を作成する練習という内容であったが、学生には自分はどのような内容を言い表わしたいのか日本語の文も添付するように指示した。そこで

我们以后干什么呢？

に対応している日本語の文として「これからどうしますか」を添付してきた。この場合この文は間違った文で正しくは

我们现在干什么呢？

にすべきである。確かに日本語の「いま」には「ごく近い未来を表す」の意味用法があり、そこから“現在”にたどりつくことも可能であった。しかし“現在”については「ごく近い未来を表す」という記述は普通ではない。

注2 厳密に言えば[「いま」+～テイル]が[現在+正、正在]などに対応している。

注3 「？」のつく文(6')(8')は判定が分かれるところもあるが少なくとも(10)(11)より良いということはない。

注4 同じ補語でも“起来”と“看见”は異なり、“现在起来”は言えるし、「未来」を表せるが、“现在看见”は言えない。この補語の違いについては更に考察をする予定である。また日本語でも

「もう宿題は書いたの。いま書いた」に比べ、

「もう宿題は書いたの。いま書き終わった」

の方がすこし自然に感じられるようであるが、これらの点についても合わせて検討したい。

参考文献

- テンスとアスペクトⅠ、Ⅱ、Ⅲ 張秀ほか著 中川裕三ほか訳 2000年11月 2001年7月 2001年11月 好文出版
時・否定と取り立て 金水敏ほか著 2000年11月 岩波書店
中国語の誤用分析―日本人学習者の場合―
吴丽君他著 西川和男編訳 2005年3月 関西大学出版部